



2023年5月15日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代表者名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード：7779、東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート部門 宇賀 伸二
部門責任者
(TEL. 029-869-9981)

金融収益、金融費用、持分法による投資損失の計上（連結決算）及び 特別損失（個別決算）並びに連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期におきまして、金融収益、金融費用、持分法による投資損失（連結決算）及び特別損失（個別決算）を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 金融収益、金融費用及び持分法による投資損失の計上について（連結決算）

(1) 金融収益の内容

当社グループが保有する投資有価証券の公正価値評価を行った結果、2023年3月期の連結決算において有価証券評価益1,248百万円を金融収益に計上いたしました。

(2) 金融費用の内容

当社グループが保有する投資有価証券のうち、実質価額の著しく低下した株式について投資有価証券有価証券評価損165百万円を金融費用に計上いたしました。

(3) 持分法による投資損失の内容

当社の持分法適用関連会社である株式会社志成データムの決算報告に基づき、195百万円を持分法による投資損失として計上することといたしました。

(4) 業績に与える影響

上記の金融収益、金融費用及び持分法による投資損失の業績に与える影響につきましては、本日公表の「2023年3月期決算短信〔IFRS〕（連結）」をご参照ください。

2. 特別損失の計上について（個別決算）

当社が保有する関係会社株式及び投資有価証券のうち、実質価額の著しく低下した株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損252百万円及び投資有価証券評価損165百万円を特別損失に計上いたします。

3. 連結業績の前期実績との差異について

(1) 2023年3月期の連結業績と前期実績との差異

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	2,150	△878	△498	△2.32
当期実績値(B)	3,289	△1,145	△298	△1.39
増減額(B-A)	1,138	△267	200	—
増減率(%)	52.9	△30.5	40.2	—

(2) 差異が生じた理由

当連結会計年度の経営成績は、売上収益は、海外向けHAL等のレンタル売上の増加及び米国の治療サービス拠点獲得によるサービス売上の増加により、3,289百万円（前年同期比52.9%増加）を計上しました。売上総利益は1,791百万円（同22.5%増加）となりました。

研究開発費は前年度に引き続き新製品の自社開発及び受託研究事業の実施により735百万円（同3.1%増加）を計上、その他の販売費及び一般管理費はM&Aによる連結子会社増加の影響により2,406百万円（同33.9%増加）を計上しました。

その他の収益は、受託研究事業収入などにより212百万円（同21.0%増加）を計上、その他の費用8百万円（同38.5%増加）を計上した結果、営業損失は1,145百万円（同30.5%増加）を計上しました。

また、金融収益は投資有価証券評価益などにより1,312百万円、CEJファンドに係る損益274百万円、法人所得税費用は繰延税金費用などにより446百万円等を計上した結果、親会社の所有者に帰属する当期損失は298百万円（同40.2%増加）を計上しています。

以 上